

船舶事故等調査報告書

平成25年5月30日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012長第39号
事故等種類	衝突
発生日時	平成24年5月4日 06時20分ごろ
発生場所	熊本県天草市牛深港 牛深港台場沖防波堤灯台から真方位148°60m付近 (概位 北緯32°11.6′ 東経130°01.9′)
事故等調査の経過	平成24年5月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 第三十二 <sup>へいあん</sup> 平安丸、14トン KM2-4006（漁船登録番号）、小豆屋水産株式会社 B 漁船 <sup>らいと</sup> 雷斗丸、1.5トン KM3-48020（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 B 船長B、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	A 右舷船首外板に亀裂及び擦過痕 B 船首部が大破
事故等の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、牛深市 <sup>ふかみ</sup> 深海漁港に向けて手動操舵で牛深港を東進中、右舷船首約45°500m付近にB船を認めたものの、同じ針路及び速力で航行を続け、平成24年5月4日06時20分ごろ、牛深港台場沖防波堤灯台南方において、A船の右舷船首とB船の船首部とが衝突した。 B船は、船長Bが1人で乗り組み、牛深港沖の白瀬付近で操業したのち、船首を台場沖防波堤の付け根にある給氷所に向けて牛深港を北西進中、船長Bが、右舷方にあるいけすの方を見ていたところ、衝突の直前に接近するA船に気付いて速力を落としたものの、A船と衝突した。 両船共に自力で航行し、最寄りの造船所に向かった。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 高潮期
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A あり、B あり A なし、B なし A なし、B なし A船は、牛深港を東進中、船長Aが、右舷前方から接近するB船を

	<p>認めたものの、針路及び速力を保持して航行を続けたことから、B船と衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、牛深港を北西進中、船長Bが見張りを行っていなかったことから、A船と衝突したものと考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、牛深港において、A船が東進中、B船が北西進中、船長Aが、右舷前方から接近するB船を認めたものの、針路及び速力を保持して航行を続け、また、船長Bが見張りを行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他船を認めた場合は、衝突の虞がなくなるまで、その動向に注意すること。</li> <li>・ 周囲の見張りを行うこと。</li> </ul>